



令和7年度 第13回卒業証書授与式

校 長

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんの三年間を振り返ると、その優しさと、物事に真剣に取り組む姿勢にいつも感心していました。授業はもちろん、学校行事、生徒会活動、部活動など、さまざまな場面で皆さんの活躍を見ることができました。体育祭での全力の競技や応援、部活動の試合やコンクール、発表会での真剣な姿、そして県文化会館に響いた美しい歌声など、心に残る場面がたくさんあります。三年生は最高学年としての自覚を持ち、学校全体をよくまとめ、大いに盛り上げてくれました。

そして本日、皆さんは義務教育を終え、それぞれの新しい道へ進みます。そこで、餞の言葉として二つのことをお話します。

一つ目は、「人は生きるために生きている」ということです。

人は何のために生きるのかと問われると、「幸せになるため」「夢をかなえるため」と答える人が多いでしょう。しかし私は、まず人は生きるために生きているのだと思います。私たち人間も、動物や植物と同じように、生きることそのものを前提として存在しています。だからこそ、その中でどう生きるか、よりよく生きるにはどうすればよいかを考え、努力することが大切なのです。

人生には、幸運なときもあれば、不運なときもあります。「禍福はあざなえる縄の如し」という言葉のとおり、幸せと不幸は縄のようにより合わさりながら交互に訪れます。不運の後には必ず幸運がやってきます。どうかどんなときも前を向き、よりよく生きようと努力してほしいと思います。

二つ目は、「アイデンティティ」を大切にしてほしいということです。

皆さんがこれから生きていく社会は、これまで以上に変化が激しく、予測が難しい時代です。AIの発展によって、価値観や働き方、生き方も大きく変わり続けています。

だからこそ、これからの時代に求められるのは、AIにはない「人間力」です。流れてくる情報をそのまま受け取るのではなく、あふれる情報の中から自分で考え、選び、自分の意思で行動する力です。そして、その力を支えるのが「自分とは何者か」という確かな軸、つまりアイデンティティです。

自分はどんな人間なのか。自分の強みと弱みは何なのか。何を大切に生きていきたいのか。

これから皆さんは新しい環境の中で多くの人と出会い、時には周囲の評価に戸惑うこともあるでしょう。しかし、そんなときこそ「自分はこういう人間だ」と言える自分の軸を持ってほしいと思います。

例えば、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手です。日本で二刀流に挑戦した当初は否定的な声も多かったです。しかし、自分の目標を信じ、挑戦を続けた結果、今や世界を代表する選手となりました。

皆さんもこれから迷うことがあるでしょう。自分を見失いそうになることもあるかもしれません。そんなときは、自分に問い続けてください。

自分はどんな人間なのか。何を大切にしたいのか。これから何をを目指すのか。

その問いが、皆さんのアイデンティティを形づくり、人生を切り開く力になります。

どうか磯辺中学校の卒業生であることに誇りを持ち、それぞれの道をしっかりと歩んでください。失敗を恐れず挑戦を重ね、自分自身を誇れる人生を歩んでほしいと思います。

それでは百五十名の卒業生の皆さんの前途が希望に満ちたものであることを心から願い、式辞といたします。



<答辞>抜粋 3年

次々と行事が終了するたびに実感する中学校生活の終わりと進路選択。自分にとって何が最善なのか、不安と迷いの中で何度も考えました。終わりの見えない勉強。思うように出ない結果。心が揺れることもありましたが、自分で決めた未来だからこそ、責任をもって前に進んでいきたいと思えます。こう思えるのも、いつも支えてくれる家族という存在があったからです。進路のことで悩んでいたときに、何度も話を聞いてくれたこと。部活動で思うようにいかず落ち込んで帰った日も変わらず温かいご飯を用意してくれたこと。遅くなっても「おかえり」と優しく出迎えてくれたこと。当たり前のように過ごしてきたその一つ一つが、どれほど大きな支えだったか、今になってようやく気付きました。これからは、支えてもらうばかりではなく、少しずつ自立した姿を見せられるように頑張ります。お父さん、お母さん、15年間大切に育ててくれて本当にありがとう。



在校生の皆さん、これまで私たちを支え、ついてきてくれてありがとう。無邪気な笑顔で「先輩」と呼ばれたこと、本当にうれしかったです。次は皆さんが磯辺中学校の新しい時間を刻んでいく番です。私たちが過ごした日々が宝物であったように、これからの磯辺中学校にかけがえのない時間が積み重なっていくことを心から願っています。

卒業生の皆さん。行事で結果が思いどおりにいかず、悔し涙を流したこと。教室で何気ない会話に声をあげて笑いあったこと。受験勉強でうまくいかないことがあったとき、励ましてくれたこと。そのすべてがもう戻ることはできないけれど、永遠に心のなかで輝き続ける大切な時間です。そんな時間がもっと続いてほしかった。三年間を共に歩んでくれて本当にありがとう。

支えてくださったすべての方々への感謝を胸に、自分らしく、力強く歩み続けることをここに誓い、答辞とさせていただきます。

学校の様子

【3年生を送る会】 3月2日(月) **【百人一首大会(1年生)】** 2月16日(月)



3年生を送る会 左：1年生ハンドダンス 右：2年生の劇

百人一首大会

表彰(3月6日:全校集会)

※個人情報保護の観点から、HPでは団体の受賞のみ紹介させていただきます。

(個人)

- 千葉市小中特別支援学校総合展覧会
- 税の標語
- 明るい選挙啓発ポスター
- 千葉県ライトブルー賞
- 千葉県議会児童・生徒表彰 千葉市教育・文化・スポーツ等功労者表彰

お礼 【部活動寄付金のお礼・報告】

今年度、部活動寄付金として 287,200 円をいただき、有効活用させていただきました。

支出内訳 各部活動費として 16,000 円(8部活×2,000円)、25,000円(5部活×5,000円)、
美術部活動費 2,876円、ヨット部全国大会遠征補助費 45,000円、野球部備品代 57,288円、
吹奏楽部コンクール本選大会バス代 77,220円、陸上競技部用具運搬費 15,800円、
グラウンドレーキ代 20,900円、冷風機修理代 21,340円、その他雑費 5,776円

今年度も保護者の皆様には大変お世話になりました。不十分な点もあったかと思いますが、ご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。これからも本校の教育活動にご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ 【離任式について】

離任式は、3月24日(火)の修了式後に行います。

参加を希望する卒業生・保護者の皆様は、3月24日(火)9時00分～9時10分に一旦潮風広場(雨天時は武道場)に集合してください。在校生の修了式終了後に体育館に静かに入場することになります。

※生徒(卒業生)は、制服(中学校または高等学校)での参加をお願いします。

4月の予定

1	水	学年始め休業	16	木	前期仮時間割開始
2	木		17	金	専門委員会
3	金		18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	
6	月		21	火	職員会議 全体研修会
7	火		22	水	
8	水	着任式・始業式 入学式準備	23	木	本時間割開始 3年学力学習状況調査(国語・数学・英語)
9	木	第14回入学式	24	金	学年会
10	金	学年内日課 新入生歓迎会 弁当持参 3年修学旅行保護者説明会	25	土	授業参観 学年保護者会 学級懇談会 部活動保護者説明会
11	土		26	日	
12	日		27	月	振替休業
13	月	学年内日課 避難訓練 給食開始	28	火	
14	火	学年内日課 身体測定(2年) 市教研 尿検査1次	29	水	昭和の日
15	水	学年内日課 中央評議会 身体測定(1・3年)	30	木	